わ か ぎ

誇り高き三中生たれ

平成３０年３月１日発行

水戸市立第三中学校

学校だより　No.２２

平成 29 年度　３月の学校運営目標

教　育　目　標

社会の動向，地域，生徒の実情を的確に把握し，本校の歴史と伝統を基盤にした「誇り高き三中生」の育成に努める。

組　織　目　標

共に学び　共に伸びる

～振り返りの時間の確保・充実・発展～

３月の学校運営目標

１年間の成長を振り返るとともに，感謝の心を育む

１　現学年で身に付ける基礎・基本の確実な習得と活用する力の育成

（１）思考力，判断力，表現力等の育成（主体的・対話的で深い学びを通して）

（２）振り返りの時間の確保・充実・発展を目指した授業づくり（主体的な学びにつなぐ）

（３）基礎・基本の確実な定着を目指した個別指導（重要語句テスト等を活かして）

（４）家庭での振り返りの確保（１か月を見通した家庭学習計画づくり）

２　生徒指導，保健・安全に関する指導の充実

（１）生徒と共に「規律と協働」を高める（元気なあいさつを基盤として）

（２）一人一人を大切にした集団づくり・授業づくり（集団指導と個別指導）

（３）安心・安全な学校づくり（年間計画の見直しと更なる改善）

（４）信頼される学校づくり（コンプライアンスに関する研修等を通して）

３　校内外環境の充実

（１）師弟共働による清掃活動　→　愛校心の育成，勤労の喜びの実感

（２）生徒会活動を活かした環境整備　→　３月から４月につないでいく

（３）潤いのある学校環境づくり（組織を活かし，教職員と生徒で創る）

４　今月の行事から

（１）３年生を送る会・卒業証書授与式（全学年）を通して，感謝と誇りの気持ちを育む

（２）授業参観・懇談会（第１・２学年）を通して，１年間の成長の姿を共有する

（３）修了式（１・２学年）を通して，１年間を振り返り，進級への準備をする

水戸市いっせい防災訓練と炊き出し

２月14日（水曜日）に水戸市いっせい防災訓練を行いました。この訓練は,東日本大震災クラスの地震（震度6弱以上）を想定し,それぞれの場所で自身の身を守る安全行動を一斉に行うものです。11時05分からのラジオ放送を静かに聞き,机の下に入り安全確保を行いました。また,プラスワン訓練として,水戸市防災・危機管理課の方から,避難所の設営や炊き出しの方法等について具体的に説明していただきました。そして,各自が準備したお米で,実際に炊き出し訓練も行いました。袋から出したアツアツのご飯を食べながら,改めて食事のありがたさをかみしめました。なお,今回の炊き出し訓練において,ボランティアとして多くの保護者の皆様のご協力をいただきました。感謝申し上げます。

〔机の下に避難〕

〔避難所設営等の説明〕

〔炊き出し訓練〕

〔炊き出しご飯で昼食〕

水戸の梅まつりボランティア

2月17日（土曜日）に本校の１，２年生10名が、第122回水戸の梅まつりの中学生ボランティア「チーム魁」に参加しました。今年は明治維新150年記念の年でもあり，梅まつり初日のこの日は県内外から多くの方が来園しました。生徒たちは，事前に「ジュニア観光ボランティア」として，おもてなしの心などについての自主研修を重ね，この日を迎えました。その成果を活かしながら，水戸市のブース「みとちゃん」のPR，梅まつりパンフレットの配布，園内の案内や説明，水戸黄門漫遊一座との記念写真撮影のお手伝いなどを，元気なあいさつとさわやかな笑顔で心を込めて行いました。観光で偕楽園を訪れた皆さんからは「どうもありがとう」の言葉をたくさんいただきました。

〔出陣式〕

〔水戸市のＰＲ〕

〔写真撮影のお手伝い〕

〔全員で記念写真〕

三中地区青少年育成会講演会

２月24日（土曜日）に三中地区青少年育成会講演会が開催されました。第１部では「ふれあいのある家庭・地域づくり標語」の表彰があり，本校の５名の生徒が表彰されました。第２部の講演会は「博多の歴女」でも知られる白駒妃登美（しらこまひとみ）さんを講師に迎えました。本校ランチルームに約160名が集まり「歴史が教えてくれる日本人の生き方」の演題で講演を聴きました。白駒さんはリオオリンピックを映像で振り返り，また，歴史上のたくさんの人物を紹介しながら，改めて日本人としての誇り・生き方とは何かを伝えてくれました。そして，水戸三中にもすばらしい歴史と伝統があること，「志」が時代を越えて受け継がれていること，一人一人の人生も「志」のリレーによって歴史を紡いでいることなどを，自分の体験を交えながら分かりやすく話してくれました。参加者全員が，自分の生き方，そして「志」について深く考える機会になった講演会でした。

〔標語の表彰〕

〔三中生も多数参加〕

〔講師の白駒妃登美さん〕

〔日本人としての誇り〕